

TTS対応電子出版について



日本の読書障害者の現状

■ 視覚障害者はどれくらいいるの？

障害者手帳発行数から見た視覚障害者数
約31万人 厚生労働省2006年身体障害児・者実態調査より

しかし、実態は……

約164万人 ⇒ 高齢化がさらに進む2030年には、202万人に達するとの見解。
日本眼科医会2007年9月発表

■ 読字障害者はどれくらいいるの？

義務教育課程における学習障害、注意欠陥多動性障害、
高機能自閉症等の症状を持つ児童数
約68万人 (全児童生徒数：1079万人) 平成21年度障害者白書より

英米では人口の10%、日本では5%
約640万人 病の起源第4集読字障害～文字が生んだ病～NHKスペシャル2008年10月12日放送より

■ 視覚及び読字障害者の延べ人数は？

約800万人
日本の人口の、約6.3% が、文字の読みが難しい人たちである。

※これらの情報は統計上のことであり、実際は、1000万人から1500万人規模である。
また、少子高齢化、身体障害の増加率から、今後10～15年で、2500万人レベルに達すると推測されている。

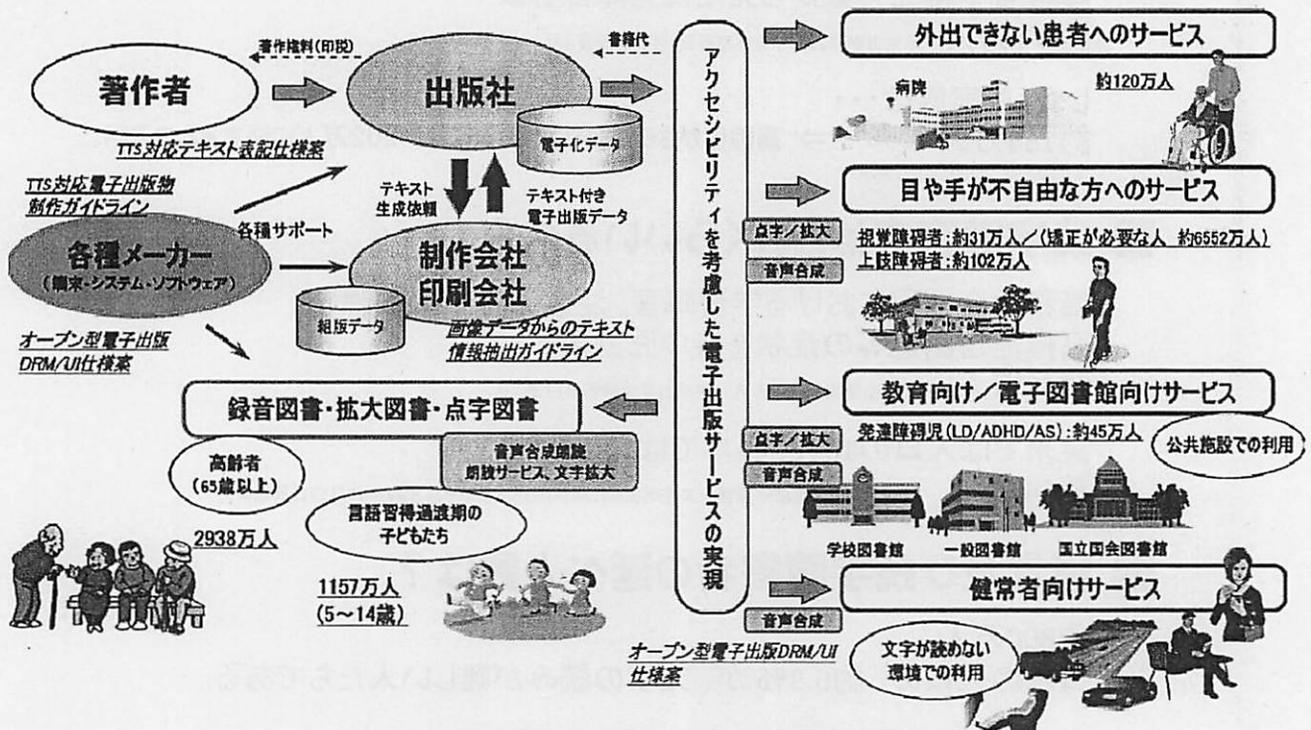
市場規模



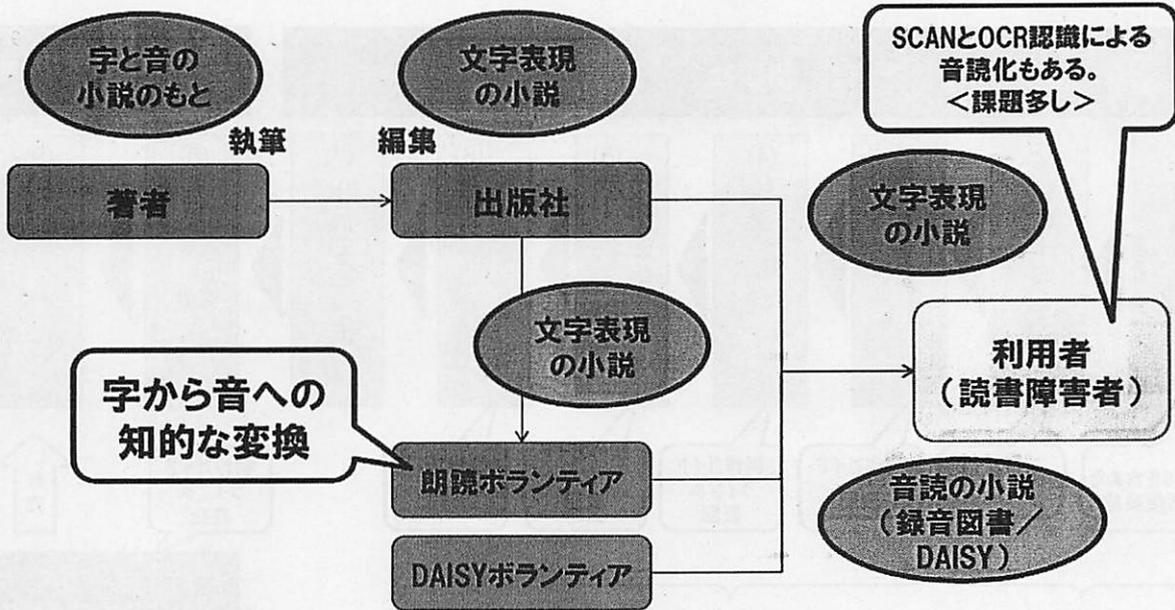
- 今後、電子出版アクセシビリティの実現に伴う新たな関連市場が創出される
- アクセシブルな電子出版物の市場創出とTTS関連機器等については、以下のような市場規模が想定される

| 対象層 | 概要 | 想定される市場規模 |
|--------------------------|--|--|
| 読書障害者向け電子出版物マーケットの獲得 | <ul style="list-style-type: none"> 約1500万人と想定される読書障害者が電子出版の利用者としてアクセシブルな電子出版物を購入する | <ul style="list-style-type: none"> 2013年ごろまでに150億～300億円（通常の電子出版物市場への追加） 2020年ごろまでに375億～525億円 |
| TTSソフトウェア及びTTS付きモバイル端末市場 | <ul style="list-style-type: none"> TTS対応の電子出版物が増加することにより、新たにTTS対応機器へのニーズが高まり、市場が創出される | <ul style="list-style-type: none"> 2015年度において1,600億～2,000億円 |

視覚及び読字障害者のためにできること

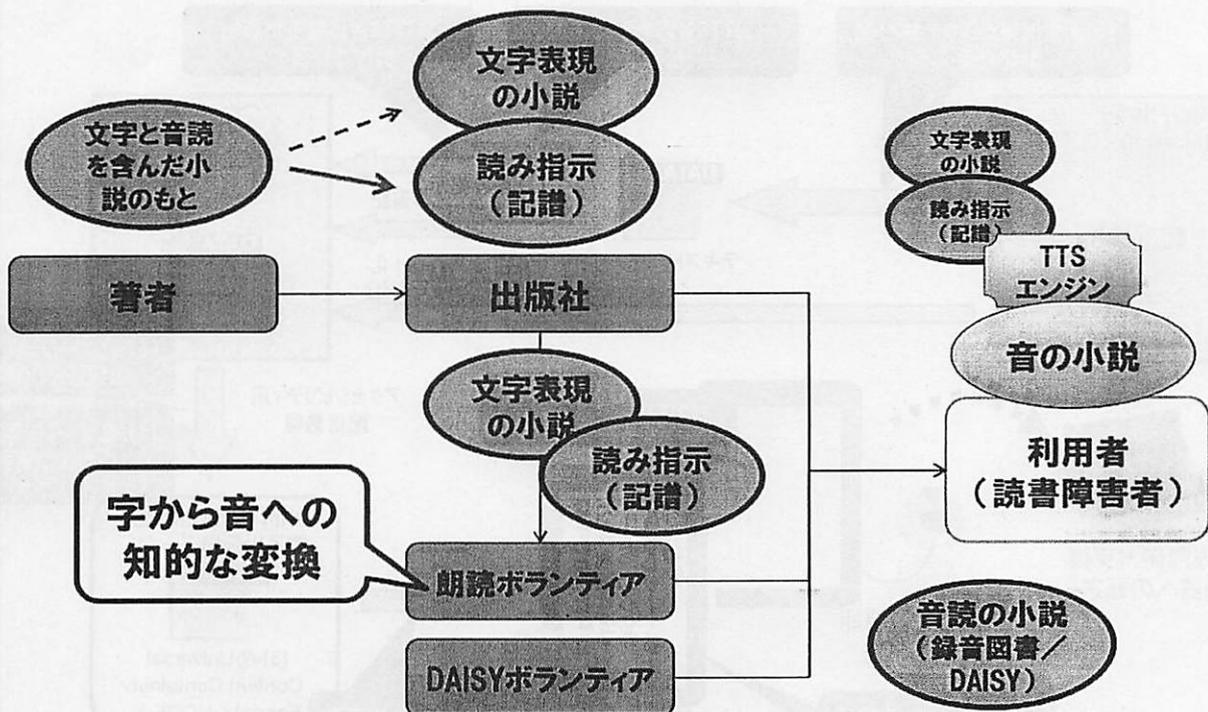


現在の書籍の流れ

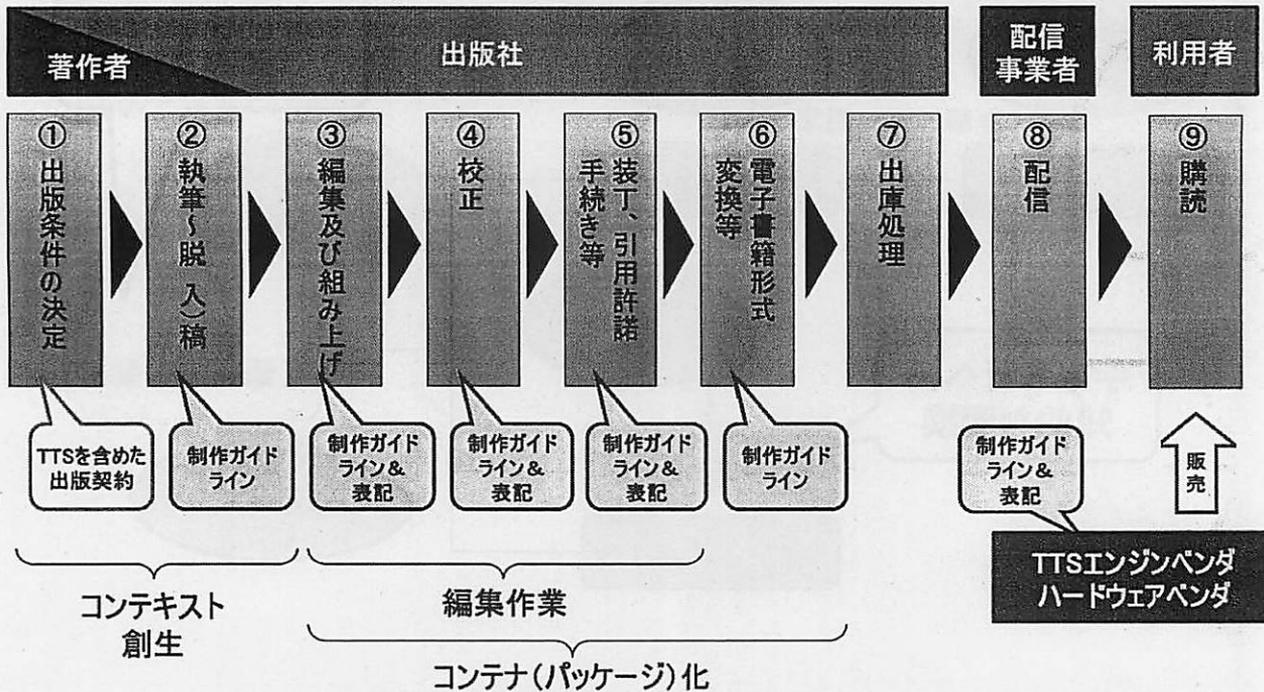


出版社から発行された字の書籍は、読書障害者は直接読むことができない

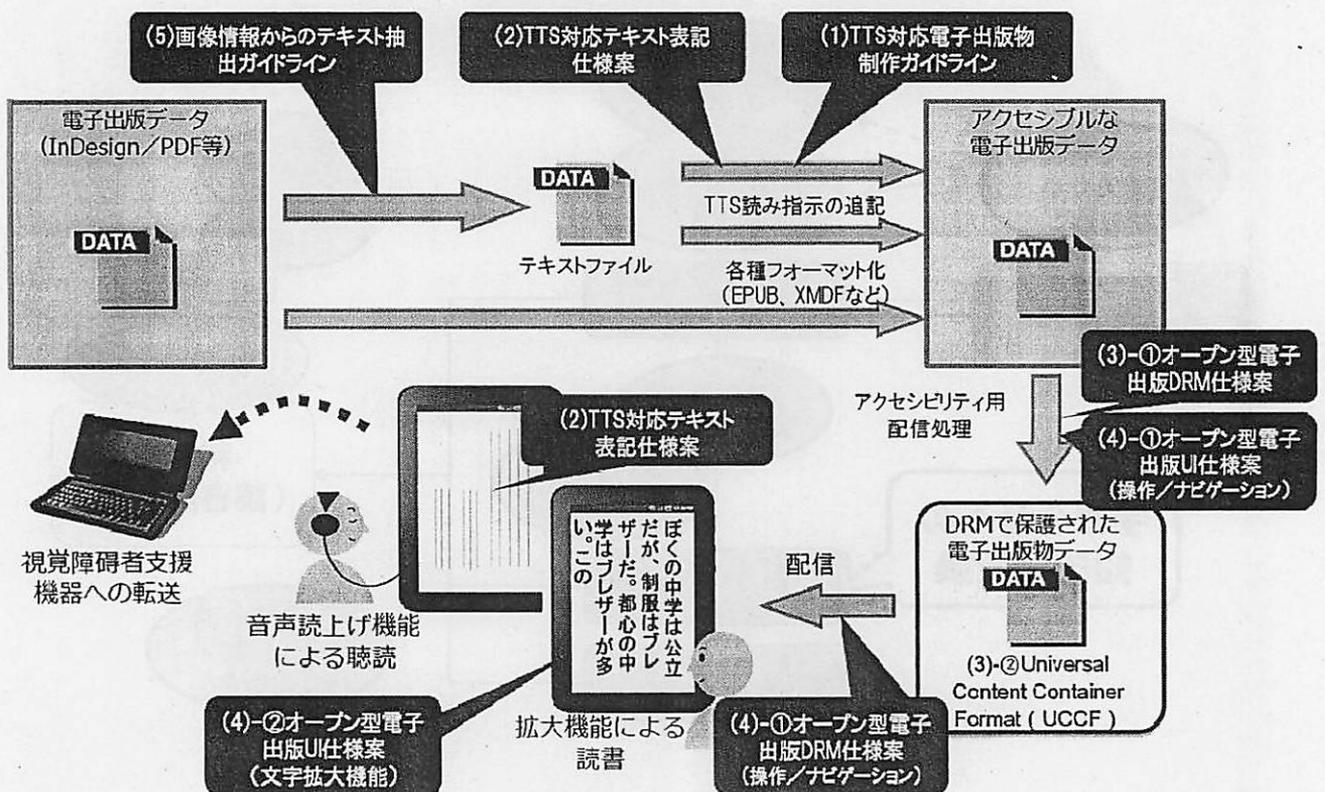
今後の書籍の流れ



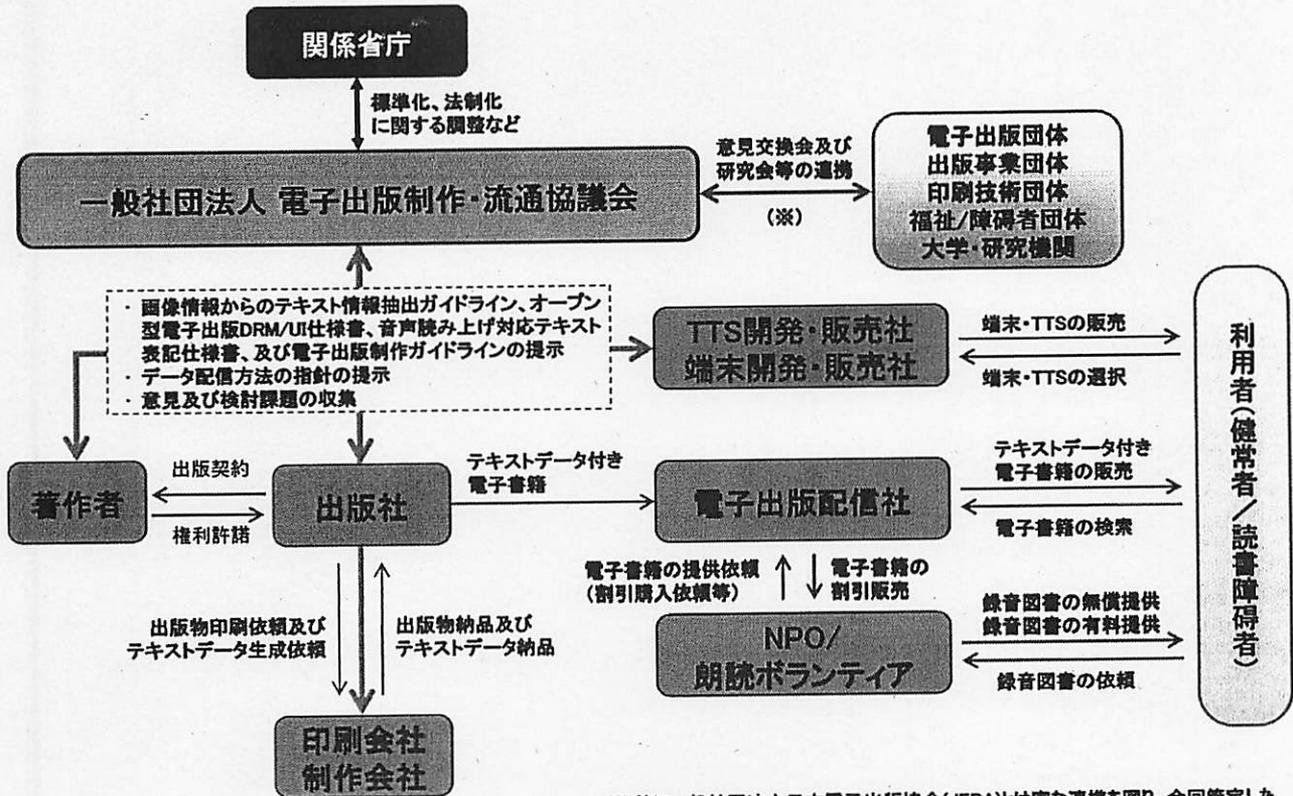
TTS対応電子書籍の制作から利用まで



電子出版制作流通協議会の各種仕様案、ガイドライン



電子出版アクセシビリティ市場創出への各者の役割図 **Bitway**



※ 特に一般社団法人日本電子出版協会(JEPA)とは密な連携を図り、今回策定した仕様やガイドラインのブラッシュアップを継続的に遂行し、共同で普及促進を行う。